

栄養学総合演習（1年前期～2年前期 必修・演習2単位） 石田 裕美 ・ 臼井 照幸

【授業の到達目標および概要】

研究課題や食物と栄養学にかかわるトピックスを討議することにより、広範な栄養学の学識を深める。同時に専門分野における知識や能力を高め、論理的に思考する態度を養う。修士論文や報告書を作成するための一連の知識や技法についても学ぶ。さらに自分の研究について学術口頭発表を行ってプレゼンテーション能力の向上や、座長としてセミナーを運営する能力を身に付けることを目標とする。英語での質疑応答の機会を通して、英語を使用する環境にも慣れ親しむ。

【授業計画】

以下の3タイプから構成される。

- ・ Aタイプセミナー：各人の研究目的や研究経過をふまえ、研究課題に関連する文献抄読を行い、その内容を発表し、討論を行う。後期に1年生が担当する。座長（進行）も学生が担当し、1つのセッションを進行・コーディネートするスキルのトレーニングも兼ねる。開講日時は、水曜日を中心に他の曜日も含め5限、6限を予定。英語での質疑応答も可能である。
- ・ Bタイプセミナー：高度人材養成コースの学生が中心に実施するシンポジウムあるいはワークショップ形式のセミナー（外部講師も予定）。セミナーの企画（テーマ設定、外部講師の選定など）から運営、評価まで学生主導で行う。通年（1年生担当）で1回の開催を企画。日程は調整して決定する。
- ・ Cタイプセミナー：2年生全員が自分の研究の中間報告を行う。学生は1、2年生とも全員参加。7月後半の土曜日を予定。

【授業外学習】

自分の発表においては、パワーポイントや配布資料の準備を十分に行うこと。他の学生の発表においては、あらかじめ配布された資料に目を通し、発表内容を理解し、積極的に議論に参加するように心がけること。

【成績評価の方法・基準】

授業の際に発表した内容、討論への参加などから総合的に評価する。